

「大阪維新」プログラム（案）

大阪の力で、大阪を笑顔にすること。再び大阪を輝かせること。そのために大阪の底力を発揮する。これが、「大阪維新」です。

大阪府では、平成20年6月5日に「大阪維新」プログラム（案）を公表しました。このプログラム（案）は、橋下府政がめざす方向性と取り組みをまとめたもので、「財政再建（財政再建プログラム案）」、「政策創造（重点政策案）」、「府庁改革」の3本柱からなります。

「財政再建」（財政再建プログラム案）

すべての事務事業、出資法人、公の施設についてゼロベースでの見直しを行うことにより、景気変動に左右されやすい税収構造の下でも、将来にわたって自律的・安定的な行財政運営を行い、財政健全化団体にならないよう、財政構造改革に着手します。

これまでの施策のあり方を再点検し、府の役割の最適化、持続可能な制度設計、施策効果の最大化という観点から、再構築します。

「政策創造」（重点政策案）

◇ 大阪の未来をつくる ～未来を担う世代に集中投資～

子育てと教育において、「大阪は日本一」と言われるような施策を重点的に推進することで、大阪の未来を担う若い世代を呼び込み、人材を育てます。

- 子育て支援日本一
- 教育日本一（公立教育の充実・強化）

◇ 大阪を輝かせる ～大阪を圧倒的に特徴づけるために集中投資～

大阪のこれまでの集積やポテンシャルを活かし、その魅力に磨きをかけ、「民の力」が存分に発揮できるよう集中投資を行うことで、圧倒的な特徴づくりをすすめ、内外に発信します。

- 他都市を圧倒する景観等で人をひきつける大阪づくり（「大阪ミュージアム構想」の推進）
- 大阪経済の活性化
- 新たな国際交流の取り組み

「府庁改革」

これからも、「顧客第一主義」を徹底し、「府民の良識」「民間の経営感覚」から見て、“あたりまえのことをあたりまえ”にやる大阪府庁、新たな“自治体経営”の姿を発信することをめざします。

- 仕事が変わる《民間に学ぶべき点は大いに学びます》
- 組織が変わる《透明で風通しが良い組織をめざします》
- 職員が変わる《府民の理解と信頼を得られるようにします》

